

登録コード	ASQ00500	開講年度	2026				
授業科目	山地保全学特論				担当教員	堤 大三	
英文授業名	Advanced Lecture in Mountain Conservation				副担当	小野 裕・福山 泰治郎	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限	対象学生	1年次生
講義室	農学部 2 2 番講義室		授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				山地域で生じる土砂生産現象のメカニズムや流出してくる土砂の挙動について理解し, 土砂災害対策の考え方や今後の砂防事業の望ましいあり方について考察する力を身につける。		
授業の概要	土砂の生産域である荒廃山地や溪流の地質的・地形的特徴について知り, 山地域で生じる土砂生産現象のメカニズムや流出してくる土砂の挙動について, 土質力学や土砂水理学の基礎的知識を習得することにより理解を深める。さらに, 土砂災害対策の考え方や自然環境保全をも視野に入れた今後の砂防事業の望ましいあり方についても考察する。また, 必要に応じ適宜, 社会で活躍されている治山・砂防関係の技術者に講師を依頼し, 地域が抱えている課題や課題解決への取り組みについて紹介してもらう。						
Contents:	This lecture will offer the knowledge about public function of forest, for example, water conservation, disaster prevention function of forest, and will discuss the idea and technique for preservation and restoration of forest.						
授業計画	第1回: 山岳地域に対して砂防事業を実施していく上での問題点や今後の課題 第2回: 激変する社会情勢や多様化する国民のニーズに呼応した砂防事業 第3回: 近年発生した土砂災害所事例紹介 第4回: 中山間地域で発生する土砂移動現象や災害の実態と課題の抽出 第5回: 中山間地域での土砂災害対策のあり方 第6回: 崩壊・地すべりの発生メカニズム 第7回: 土石流の発生メカニズム 第8回: 土壌侵食の発達過程とメカニズム 第9回: 土砂災害対策: ハード対策 第10回: 土砂災害対策: ソフト対策 第11回: 森林の多目的機能 第12回: 土砂移動に対する森林の直接的効果 第13回: 土砂移動に対する森林の間接的効果 第14回: 森林を利・活用した土砂災害対策のあり方 第15回: 中山間地域を対象とした治山・砂防計画の行方 定期試験						
成績評価の方法	授業への積極的な取り組み(姿勢)や講義中に実施する演習形式での論議, 及び授業後に作成したレポートや定期試験の結果を基に評価する。						
成績評価の基準	総合得点が90点以上を秀, 80~89点を優, 70~79点を良, 60~69点を可, 59点以下を不可とする。						
事前事後学習の内容	週末などを利用して積極的に山地域や河川を訪れ, 山岳地域の自然にふれることで山岳地域の現状や山地保全の必要性を体感し, 自分なりに検証し, 解決策を見出そうとする取り組みの姿勢が重要です。						
履修上の注意	既往研究論文を十分読みこなし, 授業やプレゼンテーションに役立てること。						
質問,相談への対応	質問や相談は, 講義終了後を原則としますが, 適時, 研究室及びメールでも受け付けます。 場所: 森林棟2F流域保全学研究室 メールアドレス: t_daizo@shinshu-u.ac.jp						
学生へのメッセージ	週末などを利用して積極的に山地域や河川を訪れ, 砂防施設にふれることで砂防計画(対策)の実際を体験的に検証し, 自分なりに評価してみることが重要です。						
【教科書】	適時, 参考となる関連論文などのプリントを配布して講義を進める。						
【参考書】	特に事前の指定はないが, 適宜提示する。						